

「平和を願う人だれもが参加できる」国民平和大行進 県内通し行進を終えて 長森悦子さん (新婦人高岡支部)

6/5～14日までの県内国民平和大行進に初めて参加しました。昨年までは気にならなかったこの運動に参加のきっかけを作ったのは2014年の3・1ピクニデーへの参加があったからだと思います。いまや世界中が核兵器のない世界を望む流れの中、被爆国日本の立場は非常に重要です。広島・長崎の原爆投下から70年となる2015年のNPT会議、ニューヨーク行動に向けて大変盛り上がりました。平和を望む全国の草の根から「核兵器廃絶」の願いを込めた運動を広げて行こう、と確認しあった一人として平和行進への参加はとても自然なことでした。



とはいえ、出れる日は参加しよう程度の思いだったのですが、事務局と日程等で連絡を取るうち「県内通し行進者」となりました。

事情あって一度は断ったものの、事務局のステキな配慮と通し行進することも社会への発信と考え受けることになったのです。

朝日町をスタートし富山県を東から西へたくさんの方々に支えられ行進の先頭を歩かせていただきました。歩くには熱い日が多かったのですが景色が変わり、人が変わり、思った通り結構楽しんで歩くことが出来ました。苦痛と言えば通し行進者が出発と到着時に自己紹介を含めた短いスピーチをすること、結構回数が多いので参りました。また、行進の合間の短い時間に民間宅を訪問し署名をもらうことにも不慣れというか不器用というか、思い返すと身体中が熱くなってきました。しかし、この苦痛や身体を熱くしたことで発見もあり、学びもし考えることもできたのだと思うことにします。地域の人たちの反応は様々で決して好意的な出会いばかりではありませんでした。元気をもらった出会いもそれ以上にたくさんありましたが、怒鳴られ、無視されることも複数回ありました。だからこそ平和行進の意味があり、せめて会話が通るよう声をあげていかなければならないのだと思います。行進の最終日は、小矢部市から石川県の引き継ぎ集会所までです。倶利伽羅トンネルを抜けると陽射しがあり、マラソン参加の人たちも一緒に賑やかな時間の中で引き継ぎ式が終わりました。「こういうことなんだ」と呟いたら、一緒に通し行進をした方が「こういうことなんです」と返されました。「すべてが感動です」と言ったら優しい笑顔が返ってきました。

主婦として家庭との両立の中、歩き貫くことはひそかに自分への挑戦でもありました。「県内通し行進者の女性は今回が初めて」と聞いた時、絶対に途中棄権することはないという気持ちを強くしました。条件さえ整えば女性にでも誰でも通し行進者になれるし、平和を願う人なら何方でも平和行進に参加できるのです。このこと



を次に続く方へ是非つなげたいと思います。

【写真：県内通し行進者2人が石川県に行進横断幕を『広島へ届けて』と言って引継ぎした瞬間です】

2015年を見据えた県内通し行進を終えて 中瀬益雄さん (富山県原水協)

2014年原水爆禁止国民平和大行進の富山県行進団は、6月5日に富山県朝日町役場前を出発し、幹線コースは実質7日間をかけ県内を行進し、14日に小矢部市から倶利伽羅トンネルを抜け石川県へ無事引き継ぎました。

私は2度目の県内通し行進をしたわけですが、1回目は2年前で「平和運動で何か役に立てることができないだろうか？」という興味本位と、前の年に東京電力福島原発の事故が発生し『核兵器と原発の原料は同じで、人間にも地球にも危険でまった必要のないもの』であり核兵器ゼロと原発ゼロを訴えて歩きました。

今回はそれに加え「安倍政権のこの課題に全く背を向ける暴走政治に『安倍首相、貴男のやってることは国民の願いとまったくアベコバミクスだ』も『おひげい』



という想いを抱き歩いてきました。

行進中には幾つもの感動がありました。朝日町の脇町長が行進の先頭を歩き、最後は見送ってくれました。民家のお婆ちゃんは玄関まで足を引きずって来られ、県内を歩く私に「広島まで行くがけ、大変やね、気つけられ」とワンコインを授けてくれました。塾へ通う小学生が「原子爆弾のことなら父ちゃんから聞いてるよ。昔、米国が広島と長崎に落としたんだよね。よ一けの人が死んだんだって。だからまたないようにおっちゃん達、頑張ってね。塾でお金がいるからこれは出せないけどね」と言って3人の友達にも署名を促してくれました。6月8日の富山南コースへ今年も大阪からの「核兵器廃絶」をめざす男性が飛入り参加（昨年は幹線コース）し、私達は元気をいただきました。

私は県内を歩き、沿道の皆さんや自治体からの声援・歓迎・署名と募金の協力等々と色んな成果と思い出と感動、そして8月に行われる2014年原水爆禁止世界大会成功の願いを、7日間にわたり掲げてきた横断幕に込み込ませ、広島・長崎さらにニューヨークの国連本部へ届くよう、石川県の行進団に引き継いだつもりです。

最後になりますが、富山県実行委員会やそれぞれの地域実行委員会の皆さん、そして事務局のメンバーの日々の奮闘があつてこの平和大行進が成功し、無事石川県に引き継いだことにお礼を申し上げます。そして県内通し行進と一緒に完歩した長森さん、広島へ行きましょう。